

理念

生命を安心して預けられる病院 健康と生活を守る病院
「あなたとあなたの家族によりそう」「安全 快適 自己実現」

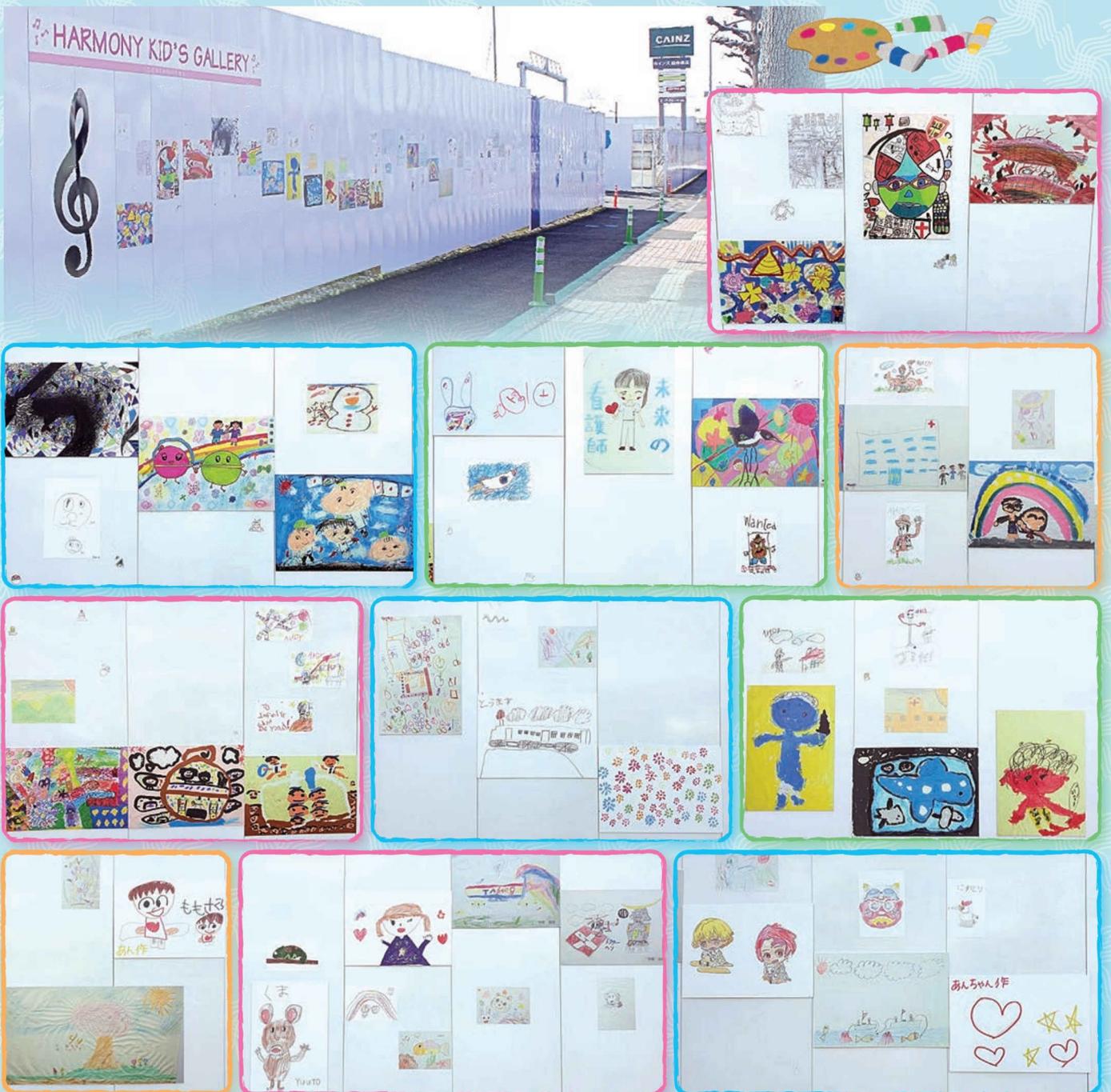
医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院

広
報
誌

よりそう

2020年
4月号
vol.24

高玉町の新築移転先に、 かわいい“絵”たちがお目見えしました



新築移転進捗レポート vol.3 4月より、工事がいよいよ始まります!

HARMONY KID'S GALLERY

～こどもたちのいらすと



新築移転完成予想図

あらためて、子供の感性には敵わないと感じますね。

書いてくれた子供達やご近所の方々が、建設現場を通るたびに明るい気持ちになってくれるようなキャンパスにしていきたいので、今後も素敵な絵を展示していきたいと思っています。

令和4年に新築移転する、約2km離れた泉区高玉町の建設現場の仮囲いに、当職員のお子さんから寄せられた絵を“絵画展示”致しました。白一色だった壁に絵があるのと無いのでは雰囲気も変わり、道行く方も足を止めて絵を“鑑賞”してくれています。



移転先をドローンで撮影

アーカイブ
コラム
2月

富谷市 富ヶ丘小学校で開催された「キャリア教育」事業に参加してまいりました。

当院として参加させて頂くのは今回で3回目となります。富谷市地域と学校と家庭をつなぐ取組みとして、看護師の川名祥平さんと薬剤師の鈴木貴洋さんが講演致しました。病院内で職員の前でお話しする機会はあるのですが、小学6年生の前では勝手が違います。話したいことが伝わらないと意味がありませんし、興味をもってもらうためには話し方を工夫しなければなりません。大人になってみると、教室がなんだか小さく感じましたが、緊張感は授業参観の時と同じぐらいです。そんな中で、仕事の大変さや喜びを感じる事、職業として選んだ動機などをお話しさせて頂きました。

15分の枠を2クールという短い時間ではありましたが、将来の職業選択のきっかけになってくれればうれしいです。



看護師 川名 祥平さん



薬剤師 鈴木 貴洋さん



看護部
院外研修
報告会レポ

アーカイブ
コラム
3月

クオリティ・オブ・ライフ (quality of life (QOL))を支える医療

～患者様に“寄り添う”とは何かを考え、学びにかえる～

看護部では、様々な分野のスペシャリストを講師に迎えたセミナーや、専門性の高い認定看護師を目指すための外部研修に参加する事は少なくありません。それらを通して得た知識は、病院内で年に数回企画されている「研修報告会」で、職員に還元しています。

今回は全部で9題。「いきいきと働き続けるために～ストレスマネジメントへのアドバイス」と題し、質の高い看護に専念するための心の有り様を。「エンド・オブ・ライフケア～望ましい死とは何かを考える」と題した発表では、終末期を迎えた患者様の意思決定を支援し、本人の意向に寄り添った医療について。また、高齢化社会に於いて「認知症」とどう向き合うかなど、テーマは多岐に亘ります。

看護師として誇りを持ち、目標達成のためにどう研鑽を重ねるか。テーマそのものが初見の職員からは、日頃から抱えていた疑問や、患者様と向き合う事で感じていた心の葛藤などについて質問が出ると、プレゼンを担当した看護師は、研修時に感じた率直な意見や感想を交え、自分の言葉で一生懸命応えていました。

医療に於いて、光の当たらない影の部分を決して見落とす事なく、グループ病院や近隣の医療機関と連携したトータルヘルスケアシステムのさらなる構築のため、情報や知識、技能を今後も積極的に習得していき、皆と共有していきます。

取材／写真：広報誌編集委員



2階西病棟

患者様と、ご家族の不安や動揺に
寄り添える“心がけ”

～明るく 活気よく 気持ちよく～

2階西病棟は、脳外科、口腔外科、眼科を主とした混合病棟です。脳外科では脳血管疾患に対し高気圧酸素療法などの保存的治療をはじめ、硬膜下血腫、後縦靭帯骨化症などの手術を対応しています。突然発症し、緊急入院となることが多く、患者様だけでなく、ご家族の不安も大きいものです。そのため、患者様やご家族との関わりを重要なものと捉え、入院直後から、退院後の生活をイメージしながら、他職種との連携を図っています。

また、口腔外科では1泊2日での抜歯術や眼科では白内障の手術を受け入れています。

<病棟やスタッフの雰囲気・年齢層>

診療科が多岐に渡り、緊急入院に伴う検査や手術など忙しい日々ではありますが、明るく活気があります。



高気圧酸素治療装置

また、12月から眼科の受け入れも開始となり、医師との勉強会や打ち合わせを重ね、患者様に安心・安全な看護を提供できるようスタッフ同士が声を掛け合い、互いに協力し合って業務に携わっています。

患者様、ご家族の不安や動揺といった気持ちに寄り添える看護の提供を心がけています。

20代、30代が中心の年齢構成でママさんナースも頑張っています！

2階西病棟 主任 大沼 朋恵

3階東病棟

入院生活と退院後の
不安や要望に寄り添う

～幅広い知識の共有で取り組む看護～

3階東病棟は内科全般の入院を受け入れている病棟です。そのため、消化器・循環器・呼吸器など疾患が多岐に渡っており、広い知識を持った看護師が多く働いています。また、高齢の患者さんが多い病棟でもあるため、疾患だけでなく総合的に患者さんを観察し、身の回りの手助けや不安に寄り添えるような看護を行っています。

高齢の患者さんの中には認知症を持っている方も少なからずいらっしゃいます。そのため、



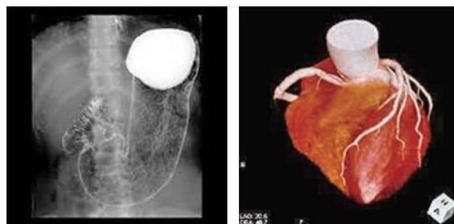
病棟内で定期的にカンファレンスを実施し、患者さん一人一人をアセスメント、また入院患者さんだけでなく、御家族の希望にも寄り添いつつ、その方に合った看護上の問題点や介入方法、退院までの目標などを多職種で検討し、安全・安楽に入院生活を過ごし、退院していけるよう取り組んでいます。

3階東病棟 浦川 真歩・平賀 祥絵

放射線科

～画像の専門家～
「ラジエーションハウス」

昨年春に放映された「ラジエーションハウス～放射線科の診断レポート～」というドラマをご覧になりましたか？医療ドラマは数々ありますが、診療放射線技師が主役のドラマは初めてでしたね。ちょっと嬉しくなりました。



われわれ診療放射線技師の業務を少し紹介すると、レントゲン検査やCT検査などエックス線を用いた検査はよく耳にしますが、磁場の力を利用して画像をつくるMRIや乳がんを見つけるマンモグラフィ、胃がんを見つける胃バリウム検査なども診療放射線技師が撮影します。

東日本大震災以来、原発事故等の報道で被ばくについて敏感になりがちですが、放射線を扱う診療放射線技師は安心して検査できるように日々努力しています。検査の際に被ばくについて質問もされますので納得できるような説明もしています。被ばくについて、検査についてわからないこと、聞きたいことがあればいつでも質問お待ちしております。



病気を見つける「画像」は治療に大きく影響を与えます。診療放射線技師はみなさまの健康を守り続けることが出来るような撮影を常に心がけて業務を行っています。



放射線科 主任 菅原 諭

事務部

総務課経理係です

経理の仕事は、病院の入出金にかかわる仕事です。

みなさんが窓口でお支払いいただいている現金などが、正しく入金されていることを毎日確認しています。また、病院で使うクスリ、消耗品、食材などのお支払をしています。

土地や建物、高額な医療機器などの財産管理も経理の仕事です。

あらゆるお金に関する情報が経理に集まってきます。その情報を毎月まとめて家計簿（損益管理表）を作成しています。

これら収入や支出の内容を分析して、経費節減など病院経営に役立てることも大事な役割です。

収入や支出の内容を把握することは、分析のための重要な要素です。新しい項目（商品など）が増えていくので、日々の勉強が大切です。

みなさんからお預かりしたお金が、地域医療の充実に貢献できるようにするのが使命だと思っています。

経理係長 齋藤 行広



アーカイブ
コラム
3月

「個人情報保護法」について、 同じ解釈を持つ重要性を学ぶ

～漏洩事故につながらないために理解に努め、責任を持つ～

診療情報管理室 副主任の渡邊さんを講師とし、「個人情報保護法」について院内研修会を開催しました。

病院内において個人情報（患者様の情報）を取り扱う職種は多く、紹介状などの書類をデータや紙などで頂いたりお渡ししたりと、多くの個人情報を取り扱います。USBなどの媒体で持ち歩いて紛失したり、病院内で撮影した写真に患者様やカルテの記載が写りこむなど、故意でなくとも漏洩しかねない場面は存在します。そのため、当院では患者様や職員の情報問わず「個人情報」の取り扱いについて厳しく定めており、漏洩のリスクを回避するために「必要のない個人情報は収集しない」「個人情報の掲載された紙媒体は、データ化したあとシュレッダーにかけ、データもパスワードでアクセスを管理する」などの防ぐための手段をいくつも設けています。

しかし大事なものは「個人情報」とは何を指すのか、「漏洩した時に被る不利益や影響」をまず理解する事が先決です。ルールを運用する上で、認識違いや解釈の仕方に個人差が生まれ、事故につなげないために「個人情報保護法」を全ての職員が同じように理解できるよう、事故事例を踏まえ工夫してわかりやすく研修を進めました。

お電話でのお問い合わせに関しても、患者様の情報をお話する事はできません。しかも、喋ってほしくない事柄も人それぞれです。お電話口の方の中には、なかなかご理解頂けないケースもありますが、安心・安全に患者様に医療を提供させて頂くため、ご理解を御願ひしているところです。



診療情報管理室 副主任 渡邊さん

取材／写真：広報誌編集委員





～のんびり釣りに～



地域連携室
永澤 匡晴



私の趣味は時間を忘れてのんびりと釣りをする事です。海釣り・溪流釣り・バス釣りと、様々な楽しみ方がありますが私は海釣り専門。小学生の頃に両親に連れられて行くようになった事がきっかけです。当時は、「アオイソメ」というミミズのような餌を針に付けて竿を投げ、じっと食いつくの待つやり方でやっていて、ハゼ、メバル、アイナメ、カレイなどの魚がよく釣れました。平均サイズ

の魚しか釣れない事が多い中、稀に大物がヒットして強烈な引きが楽しめるところが釣りの醍醐味で、時期によっては、この魚が釣れる、釣れないがありますが、1年を通して全く釣れないという事はないので、どのシーズンに行っても楽しめるのも魅力です。

最近では、ルアーという疑似餌を使って自分で竿を動かし、魚を食いつかせる手法に楽しさを感じています。若者だけではなく、年配の方も増えてきました。釣りで仲良くなった方は、釣具屋で情報を入手して独学で釣りの勉強をしています。

釣りをするにも自分のホームグラウンドがあって、県外の釣り場を拠点にしたり、県内の釣り場を点々に行く方もいます。私は、石巻・松島方面によく行きます。ふと行こうと思った時にドライブ感覚で行ける距離なのも選んだポイントです。もちろん釣った魚は帰ってから美味しく頂きます。

周りに釣りをする人がいない方々も、一度でいいから行ってみてください。きっと楽しめるはずですよ！



メバル料理



ルアー



小児科 外来

高野医師赴任に伴い、 診療日が増えました。

風邪の
諸症状

腹痛

突然の
鼻血

2階フロアの矢印に
沿ってお進みください

産婦人科と小児科の
入口は同じです



受付時間		月	火	水	木	金	土 ※第1・3週
午前	8時00分～11時30分	○ ※応援医師	○	/	○	/	○
午後	13時30分～16時00分	○	○	○	○	○	/



地域の皆様には、当院の様々な情報を写真付きで発信させて頂いておりますが、“素敵な写真”の定義は、見る側と見られる側、双方が不快にならないものと言われています。広報誌も、個人情報漏洩につながらないように十分に気を付けて発行していきますので、今後とも読んで頂ければうれしいです。

広報誌編集部

基幹型臨床研修病院の役割

当院は、厚生労働省より※基幹型臨床研修病院の指定の元、現在は初期研修医2年次1名・1年次2名を受け入れており、臨床研修協力病院・施設と連携した研修プログラムを充実させ、患者さまに対して、安心でより質の高い医療を行える医師を育成してまいります。

基幹型臨床研修病院の責務として、地域における中核的医療機関として更なる充実に努めて参りますので、何卒ご理解、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

※基幹型臨床研修病院とは、医学部を卒業し、医師免許を取得した医師（研修医）が卒後2年間、基本的な手技、知識（初期研修）を身につけるために経験を積む病院であり、医師の教育において重要な役割を担っています。

2020年（令和2年）4月発行
医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院 広報誌
編集・発行：地域連携室
発行責任者：院長 佐野 憲
印刷所：モリタ印刷株式会社



医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院

〒981-3131 宮城県仙台市泉区七北田字駕籠沢15
TEL: 022-372-1110(代表) FAX: 022-372-1499

HPアドレス <https://sendai.tokushukai.jp/>

●休診日につきましてはホームページでご確認いただくか、お問い合わせください。



この印刷物は、環境に配慮した植物油インキを使用しています。